

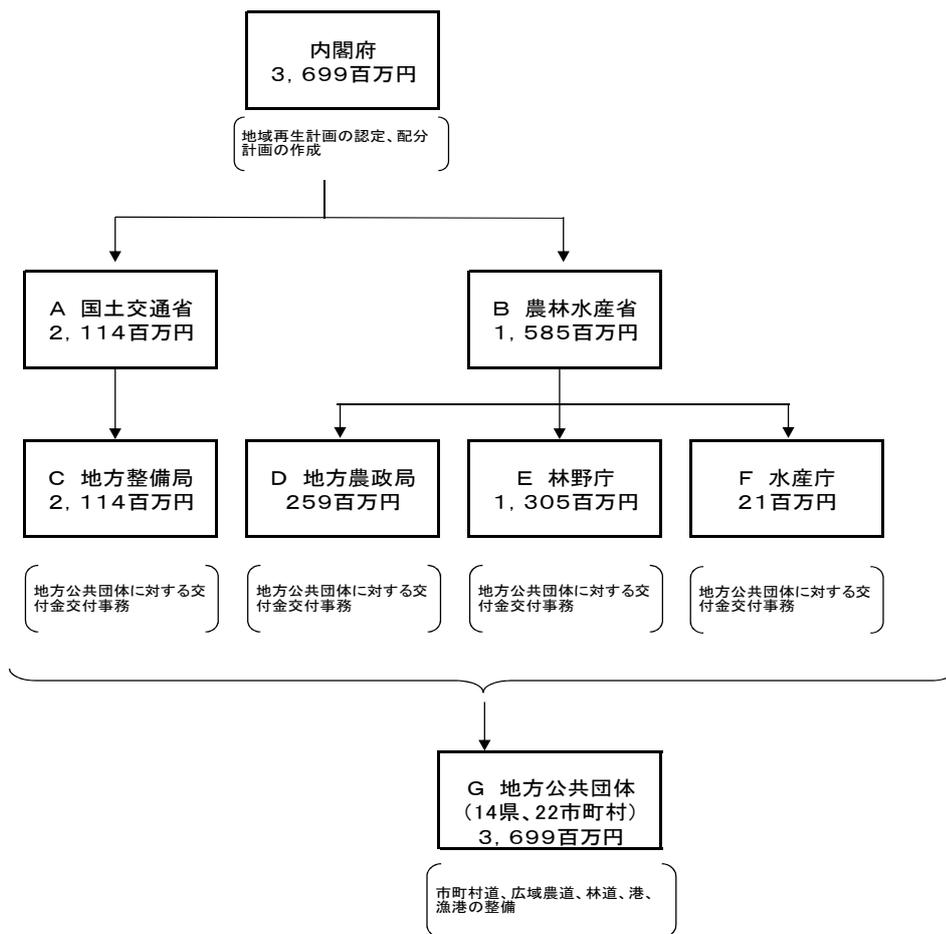
平成25年行政事業レビューシート

(内閣府)

事業名	地域再生の推進のための施設整備に必要な経費		担当部局	政策統括官(経済財政分析担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成24年度		担当課室	地域活性化推進室		参事官 滝澤 秀樹		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	2.1 地域再生基盤強化交付金の配分計画の策定(政策6-施策)				
根拠法令(具体的な条項も記載)	地域再生法第13条第1項		関係する計画、通知等	地域再生基本方針				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「東日本大震災からの復興の基本方針」に基づき、東日本大震災を教訓として、全国的に緊急に実施する必要があるが高く、即効性のある防災等のための事業を総合的かつ効果的に実施するため、地域再生法(平17法24)に基づく地域再生計画に対して支援を行う。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	近いうちに発生が懸念される地震・津波(東海地震、東南海・南海地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震)への対応が必要な地域を対象とし、地域再生基盤強化交付金を活用して防災・減災のための基盤整備を行う。 なお、本交付金は、事業の進捗に応じ類似する施設間の予算の融通や年度間の事業量の調整ができるなど、地方公共団体の自主性・裁量性が高いものとなっている。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	—	—	6,100	0	0	
		繰越し等	—	—	△ 339	—	—	
		計	—	—	△ 1,979	1,979	—	
	執行額	—	—	3,782	1,979	0		
	執行率(%)	—	—	97.8%	—	—		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(—)	
	地方公共団体に対するアンケート調査で、「交付金の持つメリットを効果的に活用できた」と回答した割合		成果実績	%	—	—	85	—
			達成度	%	—	—	121.4	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	地域再生基盤強化交付金を活用した計画数		活動実績(当初見込み)	件	—	—	27	—
			算出根拠	—				
単位当たりコスト	— (円/)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
				平成24年11月27日に復興推進会議において決定された「今後の復興関連予算に関する基本的な考え方」に基づく平成24年度限りの経費。				
	計							

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本交付金は、地域再生のため、地方公共団体が作成した計画に基づき実施しているもので、優先度が高く、国の支援が必要な事業である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	本交付金は、地域再生法に基づき認定された地域再生計画により、地方公共団体の要望を踏まえ作成した配分計画に基づいて、関係行政機関に予算を移替し、地方公共団体に交付するものであり、資金の流れ、費目、用途は適切なものとなっている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	—				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	—				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—				
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	アンケート調査の結果によると、本交付金のメリットが活用できたと回答する地方公共団体が多く、成果はあがっている。また、活動実績も見込みどおりとなっている。本交付金の執行に当たっては、関係行政機関と適切に連携している。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—				
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名	
点検 結果	内閣府が実施した、平成24年度に本交付金(復興枠)を活用した地域再生計画に係るアンケート調査において、交付金のメリットを「活用できた」又は「ある程度活用できた」と回答した地方公共団体は約85%となっており、本交付金制度は地方公共団体に評価されているところ。					
外部有識者の所見						
—						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
○その他参考ホームページ(地域再生本部) http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiikisaisei/index.html						
関連する過去のレビューシート of 事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新24-0013

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

※ 金額は、四捨五入で処理しているため、合計は合致しない。

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックごと
 に最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.国土交通省			E.林野庁		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
交付金交付	交付金交付事務	2,114	交付金交付	地方公共団体に対する交付金の交付	1,305
計		2,114	計		1,305
B.農林水産省			F.水産庁		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
交付金交付	交付金交付事務	1,585	交付金交付	地方公共団体に対する交付金の交付	21
計		1,585	計		21
C.中部地方整備局			G.愛知県		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
交付金交付	地方公共団体に対する交付金の交付	1,028	工事費	交付対象施設の整備	926
計		1,028	計		926
D.中国四国農政局					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
交付金交付	地方公共団体に対する交付金の交付	157			
計		157	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土交通省	交付金交付事務	2,114	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	農林水産省	交付金交付事務	1,585	—	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中部地方整備局	交付金交付事務	1,028	—	—
2	関東地方整備局	交付金交付事務	516	—	—
3	中国地方整備局	交付金交付事務	419	—	—
4	四国地方整備局	交付金交付事務	152	—	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中国四国農政局	交付金交付事務	157	—	—
2	近畿農政局	交付金交付事務	70	—	—
3	東海農政局	交付金交付事務	17	—	—
4	関東農政局	交付金交付事務	15	—	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	林野庁	交付金交付事務	1,305	—	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	水産庁	交付金交付事務	21	—	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	愛知県	交付対象施設の整備	926	—	—
2	徳島県	交付対象施設の整備	740	—	—
3	山梨県	交付対象施設の整備	601	—	—
4	岡山県	交付対象施設の整備	419	—	—
5	神奈川県	交付対象施設の整備	304	—	—
6	静岡県	交付対象施設の整備	279	—	—
7	長野県	交付対象施設の整備	104	—	—
8	埼玉県	交付対象施設の整備	97	—	—
9	高知県	交付対象施設の整備	71	—	—
10	兵庫県	交付対象施設の整備	70	—	—